

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		カラス被害防止対策				所管	環境清掃部 環境課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 平成14年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他	[法令等名]	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律					
	事業対象	威嚇等のカラス被害を受けている区民							
	事業目的	カラスによる区民生活への被害を防止する。							
	事業内容	繁殖期におけるカラス被害を防止するために、民有地の巣の撤去及び幼鳥の捕獲等を行う。							
委託の有無	一部委託	委託内容	鳥獣保護法で許可が必要なカラスの巣の撤去及び卵・ヒナの回収等の委託						
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	巣の撤去	件	-	17	10	10		
		落下ヒナの回収・調査等	件	-	16	9	15		
	成果指標								
	決算額	(単位：千円)			597	336	555		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			4,950	4,582	5,539		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			597	337	556		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			0	0	0		
		総経費			5,547	4,919	6,095		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0				
一般財源（区負担額）			5,547	4,919	6,095				
前年度から改善した事項	営巣の情報を受け、職員が定期的に現場確認を行い、営巣状況の把握に努め、巣撤去の必要性及び時期について慎重に判断した。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	4	繁殖期のカラスは人に対して威嚇や攻撃を加える恐れがあり、区民の生命・健康に影響がある。また、卵・ヒナを捕獲するには鳥獣保護法に基づく許可が必要であるため、行政が積極的に関与する必要がある。						
	効率性	3	巣の撤去に係る業務委託経費の抑制に繋げるため、職員による巣の選定を行ったうえで、迅速な巣の撤去を実施している。						
	手段の適切性	4	職員が定期的に現場確認を行い、営巣状況を把握したうえで、巣撤去の必要性及び時期を判断している。また、卵やヒナの駆除・捕獲については、鳥獣保護法に基づく許可を取得している事業者に委託している。						
	目的達成度	4	迅速な苦情対応に努めており、委託業者においても概ね即日処理の実施が行われている。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
カラス被害の相談件数は、年度により増減はあるものの、区民の安全を確保するという観点から引き続き対策の必要がある。						維持			